

広報

おぎかわ

2023. 7. 15 第204号

発行者 荻川コミ協

発行人 窪田吉衛

電話 (24) 5776

荻川の人口

世帯数	7,141戸
人口	18,040人
	(前年同日比-221人)
男性	8,771人
女性	9,269人
	(2023年5月末日現在)

- 荻川を1つの隣組に
- 荻川総ボランティア
- 寝たきりゼロの健康のまちづくり

女性の料理教室の開催

5月21日(日)に女性部主催の料理教室が開催されました。13名の参加、ゆみ子先生の分かり易い指導により、本日のレシピは「里芋のこままぶし」「エビのチリソース」「コーヒゼリー(アイスのせ)」「トマトと新玉ねぎとホタテの肉巻き」「麩のからしあえ」の5品を楽しくつくることができました。

初めての参加者からは「道具がどこにあるか分からなく戸惑った。」「彩り良く出来上がって良かった。」「最初は緊張したが楽しんで料理ができた。」「との感想も聞こえてきました。調理後、全員で会食し話題豊富な会話で楽しい時間を過ごしました。

ゆみ子先生、ご参加頂きました皆さま、ありがとうございました。今回のレシピを是非ご家庭にてチャレンジしてください。なお、11月上旬には「男の料理教室」、12月上旬には再度、「女性の料理教室」を開催しますので皆さまお気軽にご参加ください。お待ちしております。

(女性部K)



女性部社会見学に行ってきたよ!

コロナ禍でしばらく中止になっていましたが、昨年の新発田街歩きに続き、今回は会津三観音めぐりで西会津に行ってきました。この時期にしては天候に恵まれた2日でした。

個人で行く方も多いと思いますが、見学場所がガイドさんを頼み説明を聞くのも、団体旅行でしか味わえない有意義な魅力の一つです。

見学の最中では、「ご利益に預かって、どうせ死ぬなら、薬に逝ってしまいたいね!」「母が生前、会津三観音めぐりを楽しくしていたこと。その時の母の心情がわかる年齢になりました。」等の話が聞かれました。

三観音の一つである鳥追観音では、副住職からお話を頂き、左甚五郎作の隠れている三猿の説明を聞きました。参加者の皆さんは、「お姉さん」という言葉に弱いのか?副住職の会話の中に引きずり混まれ聞き入っていました。

昼食は美味しい料理を沢山頂きました。あの食欲を見れば皆さんも「三観音」のお世話には、まだまだ必要でないと感じました。お土産も西会津町から表彰状が届くかのような爆買いで、地域貢献もできました。ご参加下さいました皆さま、お疲れさま! 皆さまに幸あれ!!

(参加者 K)



生涯学習講座の開催

今年度第二回目の生涯学習講座が、5月13日(土)に開催されました。39名の受講生が参加しました。講師の先生は、分かり易くするための講義で人気のノンフィクション作家の金森敦子氏で、遺跡からひもといた「旧新津市の村の成り立ち」ということで、ご講義をいただきました。

1. 太古は海だった蒲原平野に、どうやって人々が村を作ってきたのか。
2. 治水や地形の分類図を使って分かり易く説明していただきました。
3. 大正2年の木津切れで、水浸しになった亀田郷が洪水のおかげで、栄養分のある土ができ、水田には美味しいお米ができるようになったとのことでした。

認識不足もありましたが、知らないことを得たことでの満足感を感じ、充実した時間でした。

私もそうですが、聴講した皆さんも、一生懸命にメモを取っており、あつという間に時間が過ぎて終了となりました。

新型コロナウイルスも5類に移行したことに伴い、会場も分館会議室から本館第二研修室に3年ぶりに戻りました。ご自身の体調管理を行い、次回も是非、元気な状態で本講座にご参加ください。





第31回荻川地区ソフトボール大会

6月4日(日)市之瀬運動広場を会場にて4年ぶりとなる荻川地区ソフトボール大会が開催されました。参加は4町内と少し少ないチーム数となりましたが、試合が始まると皆さん真剣にプレーして爽やかな汗を流していました。
久々のスポーツイベントという事で少し心配もありましたが怪我も無く楽しく大会を開催する事が出来ました。
成績は、優勝・萩鳥チーム、準優勝・車場チームでした。
(保健体育部)

元コミ協会長 風間淳一さん 旭日小綬章受章

この度、風間淳一さんが旭日小綬章受章の栄誉に輝きました。
これは日本の勲章の一つで公職においては市議会、県議会議員、市議会議長としてまた地域経済の発展に新津商工業団地の誘致に寄与いたしました。
新潟市秋葉区となつてからは、荻川コミユニオン協議会の会長として16年の長きにわたつて、安心して暮らせる安全な街づくりに汗を流し、秋葉区社会福祉協議会の要職も務めました。
120名を超える授賞記念式典では、新潟市長、国会議員の方々からも風間さんの功績を讃える祝辞、挨拶が続きました。
壇上に奥様と二人並んで、お孫さんからの祝辞に目を細めておられました。
米寿の喜びと重なる今年はめでたい年でもあります。
そして、もう一つ、風間 芳仙のペンネームで歌集「里に生きる」を出版いたしました。69年間に詠んだ短歌200ページの集大成。作品の中には子、孫、家族への愛、そして生まれた郷土への愛。
短歌、農業、そして政治家としての風間淳一さん。この叙勲に乾杯。
(かね町 朝比奈)



コミセン構内除草・コミセン前下水道口上げ実施

5月7日(日)環境整備部13名による、コミセン構内除草・コミセン前下水道口上げ作業が行われました。
令和5年度初めての作業で当日は雨が降り続くあいにくの天気となりましたが、参加者全員の協議の上中止しようという人は入も無く作業を実施しました。
雨具を着ての作業となりましたが皆さんの協力により、コミセン構内・コミセン前下水道部分も綺麗になりました。
(環境整備部)



福祉の推進について話し合い 地区社協事業の説明・相談会議

5月27日、地区社協の令和5年度事業を自治会長・町内会長の皆様に説明し、推進方法について相談しました。
令和5年度は、見守り事業「おきかわあつたかネット」など従来からの事業の充実を図るほか、新規事業として第二中学校生徒も参加する「荻川支えあいフォーラム」の開催、相談先覧の作成、世代間交流モデル事業に取り組みます。
自治会長・町内会長の皆さまから貴重なご意見をいただきましたので、より効果的な事業推進に取り組みます。
(地区社協)



保護司会秋葉支部 秋葉区青少年育成協議会

荻川コミセン敷地角にある看板が、今年5月に塗り替えられました。



第22回新潟県大衆音楽祭に出場して

私は5月21日に開催されました新潟県大衆音楽祭で70歳79歳で全国大会出場希望しない24名の方々のゴールド部門に出場し、大賞をいただきました。同日私は三条市での新潟県カラオケ選手権大会出場も予定もあり、私の歌唱が終わってから三条会場へ移動して、表形式では私不在であわただしくなり、迷惑をお掛けしてしまいました。大衆音楽祭には伝えておいたのですが忘れていたようで、(参考まで理事長は元会社の後輩ですが特別な強要は行っておりません。三条会場ではシルバー101名と一般59名の2部門で行われ、私は一般部門出場で奨励賞いただきました。)

私がカラオケを始めたのは会社退職後しばらく時間が過ぎて、特技も趣味もなくどうしようかなと思っている頃、町内の先輩に萩川いきいき塾カラオケ部に誘っていただけだったので夢中になるようになりました。

私の歌の主な練習は毎日行っている愛犬との散歩中、そして萩川いきいき塾カラオケ部(木曜クラブ)での歌唱です。

みそら野町内会、古川哲平



ゼンテイカ(前庭花・前庭花)

ユリ科フスレグサ属
別名 ニッコウキスゲ(日光黄薔)

高さ六十から八十cm。花期七から八月北海道本州中北部山地から亜高山草地、時に海岸に自生している。

変種にトビシマカンゾウ(飛鳥萱草)佐渡、飛鳥山形県、の海岸草地に自生している。ゼンテイカは中国から禅僧が持ち込み、日光の禅寺に植生したとの説である。



四月からNHK朝ドラ「らんまん」に世界的植物学者、牧野富太郎博士の生涯、伝記が放映され、植物個体を四十数万点収集、採取保存、その業績が称えられ、植物に聊か興味を持つ身、その展開を期待、毎朝が楽しみである。

自治会の役を四年前に退き、余生を山野に入り植物探索、採集を楽しむにしております。山歩きは断念、二十数年に互る収集植物が未整理、この機会に総て標本とする、着手約二千五百個体を文献、辞典、図鑑等を駆使、難解、容易に進みます。

冠名、世界共通学名は「ラテン語」に定められ、各国語学名は従属的に認められ「和名はカタカナ表示に統一次に類別、羊歯・草本・木本・菌藻・苔に分類、科属、種の細分、更に各個体の生態を詳細に又、採取地年月日を記録、四年を費やし標本化を終了、目録索引簿を編集利用可能としました。

実、種子類が未整理、健康状態と相談し追々標本化に取り組みます。

「植物標本」

萩島三

吉村利夫

「子ども食堂開催」

五月晴れの5月20日(土)、子ども食堂を開催しました。

メニューは相変わらずのカレーでしたが、求場者は先回同様100食を越え、嬉しい限りです。コロナ禍の中、先回から二回に会し、友人家族連れで食事をしていただきました。食事の前には「萩川よみかかせの会」による絵本の読み聞かせも開催、子どもたちは心を奪われたようです。

現在は体育館が使用できないので、思い切り走り回ったりはできませんが、他の遊びも増やして行けたらと思っています。

個食が増えている中、家族や友人と会食し、大勢で食べる楽しみを味わって欲しいと思います。

「ほうかご広場」でもご案内していますが、結小の子どもたちに、「子ども食堂川口出張所」として、子ども食堂を同時開催しております。是非こちらもご利用ください。

なお、食料や購入資金が不足しますので、ご寄付等頂ければ幸いです。

次回は、7月22日(土)開催です。お待ちしております。

子ども食堂



「子ども食堂川口出張所」

「子ども食堂川口出張所」は萩川子ども食堂で作っていた料理を、川口地区でも提供するイベントです。毎月第2木曜日に川口地域交流会館で開催していること、の居場所「ほうかご広場」のスタッフが運営しています。

どちらも、結小小学校区の子どもたちや、萩川コミニティセンターが遠くてなかなか足が向かない地域の人たちなど、地域の誰もが集える場所として開いていますので、どうぞお寄りください。

公式LINEに登録していただければ、「子ども食堂川口出張所」ほうかご広場の開催をお知らせしますので、よろしければご登録をお願いいたします。



ほうかご広場

LINE公式アカウント



久しぶりの笑顔 会員交流会開催

真夏を思わせる29度の猛暑、18日の日曜日、私達中野親和会は定例の交流会を中野公会堂で行いました。

今回は秋葉区交通安全協会中野支部からご協力を頂き、荻川交番2名の方のご講演を頂きました。

講演の内容は、自転車のヘルメット着用の重要性や相変わらずの振り込み詐欺が最近増加しているなどのお話でした。

昼食後は会員による『銭太鼓・手品』の出演があり大いに盛り上がりました。

最近では会員の減少、特に足腰が弱くなって歩けず、いけないとの声のある中、今後の会の運営など考えさせられる交流会でもありました。

会はずっと楽しく和気あいあいでした。これからも是非続けていきたいと思っています。



..... 荻川交番だより

自転車に鍵をかけましょう!

令和5年に入り、秋葉警察署管内では自転車の盗難被害が多く発生しています。荻川駅前交番管内でも発生があります。

被害にあった自転車のほとんどは、鍵をかけていませんでした。

これから、季候が良くなり自転車で外出する機会も増えてくると思いますが、みなさんも自転車には必ず鍵をかけましょう!

- 1 自転車には鍵を2個(ツーロック)以上かけましょう!
(自転車についている鍵の他にもう一つ)
- 2 短時間でも、自宅前でも鍵をかけましょう!
(一瞬、目を離れた時に被害にあうこともあります)
- 3 路上に置かず、駐輪場に置きましょう!
(自転車は決められた場所に)
- 4 防犯登録をしましょう(自転車店で)
(被害にあった時に手配ができません)



広報おぎかわ第203号発行についての「お詫びと訂正」について

本誌、令和5年5月25日、第203号に掲載しております記事中、下記につきましては字句の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

記

令和5年度の専門部のコーナー(4ページ)、荻川地区社会福祉協議会の氏名で

訂正箇所	副代表	星 吉枝、石井 健治
正しくは	副代表	星 吉枝、石井 健司

総務・広報部

お知らせ・情報・会員募集コーナー

能代川について (風間 淳一)

能代川は、五泉から流れ来て新関地区の小口をまわり、草水・滝谷を通り、新町を流れ下奥野・北上を通り、いよいよ吾が川口から荻川地区を流れて行く川です。

荻島で、満願寺の水門から流れて来る小阿賀野川と合流して、「小阿賀野川」となって流れて行き、覚路津地区で信濃川と合流して、日本の一大長流「信濃川」となって日本海に注ぐものです。

むかし、五泉の中を流れる川は幾筋もの小さな流れがあり、それを集めて流れる川も、九十九曲がりと言われる程のものであったと聞く。それが「能代」と云う所から一つになって流れたので「能代川」と云ったと言われていました。

この能代川は、新津に於いても毎年水害を起こしていた。一つの堰が草水に二の堰が滝谷に、そして三ノ堰が川口にありました。

この三つの堰は、それぞれ大きな役目があった事であろうが、私はその頃年少にして一ノ堰・二ノ堰についてはよく知りません。

三ノ堰は、私が少年・青年期は立派なコンクリートと鉄ででき、歯車で開閉するものであった。三ノ堰は大きな役割を持っていた。

それは荻川地区の耕地を潤す用水の取り入れ口の一つであった。昔の様子を記した記録書によると、まだ常堰となって居ないころ、時期になると関係地域の住民が繰出して堰を作った。

何しろ流れ川を、木や草や土囊などで、遮る作業だから大変だった。夜通し作業である。炊き出ししたり、作業の班編成や、弓張堤灯を掲げて、まるで戦場の様だったと云う。

川口に用水の取り入れ口として堤防の内側に池があった。「どばた」と云った。(渡端か)

川口の三ノ堰について一寸云わせてもらう。

一見、白い飛沫をたてて音もドンドと勇壮でした。「ドンドンドと鳴る瀬はどこじゃ鳴る瀬川口の間堤の音」と、新津松坂にも唄われたものでした。「しぶき渦巻く能代に不屈魂鍛えつつ…」などと川口青年会の応援歌にもなったものです。堰の上方は川水が満々としていて、そこに飛び込んで泳ぐとよい位に思われましたが、能代川は石油が浮いているので入る人は居なかったようです。(次号へ続く)



編集後記

「広報 おぎかわ」
話題・情報提供のお願い
 総務部では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。
 町内会行事など身近な話題、耳寄りな情報やイラスト、写真など気軽に下記へお寄せください。
 ◆提供先 コミ協事務局(総務・広報部)
 TEL 24-5776

地球温暖化などの影響で、夏の暑さが尋常ではありませんが、最高気温が30度以上の真夏日は当たり前、35度以上の猛暑日になることもあり、熱中症に注意が必要です。
 熱中症は誰にでも起こるものと理解し、とにかく気温が高い日は無理をせず、こまめに水分、塩分補給を心がけたいものです。
 また、熱中症は野外だけでなく、高温多湿の室内でも発症する場合があるそうです。
 熱中症警戒アラートを待つまでもなく、暑い、体がだるいと感じたら、涼しい場所に移動し、衣服を緩め体を冷やす、それでも症状がひどい場合は、ためらわずに救急車を呼びましょう。
 特に、高齢の方やお子さんがいるご家族は気配りをお忘れなく。
 県内で最も気温が高くなることでも有名(?)な秋葉区でもあり、熱中症対策はしっかりとしなければなりません。

〈N・K〉